

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設モニタリング票（評価対象年度:令和4年度）

施設の名称	名取市みのり園
指定管理者の名称	社会福祉法人みのり会
施設所管部課（室）	健康福祉部社会福祉課

1. 管理形態の推移 【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者（管理受託者）	摘要
昭和62年 3月 ～平成14年11月	管理受託	名取市手をつなぐ育成会	
平成14年12月 ～平成18年3月31日	管理受託	社会福祉法人みのり会	
平成18年4月1日 ～	指定管理者	社会福祉法人みのり会	

(注) 管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要 【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	社会福祉法人みのり会
	所在地	名取市上余田字千刈田528番地1
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年0ヶ月）	
募集方法	公募 ・ <u>非公募</u>	

3. 施設の概要 【施設所管課記入】

施設の名称	名取市みのり園
所在地	名取市増田一丁目8番34号
設置年月	昭和62年3月（障害者福祉作業所として設置）
根拠条例等	名取市障害者支援施設条例、名取市障害者支援施設管理規則
設置目的	雇用されることが困難な、市内に住所を有する在宅の障害者に対し、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく就労継続支援を行うため。
施設の内容	作業室、厨房、事務室
開館時間	午前9時～午後4時
休館日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/28～1/4）
指定管理者が行う管理運営業務	就労継続支援の実施に関する業務 施設の維持管理に関する業務 その他市長が別に定める業務
利用料金制度	採用の有無 <u>有</u> ・ 無
	利用料金の名称 施設の利用に係る料金

4. 施設の利用実績 【指定管理者記入】

	評価対象年度 (A)	前年度 (B)	前々年度	評価対象年度の 対前年度比 (%) (A) / (B)
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	
開所日数	246日	233日	235日	105.6%
延べ利用者数	5,803人	5,848人	6,367人	99.2%
利用者数 (人/日)	23.6人/日	25.1人/日	27.1人/日	94.0%
主な増減原因	開所日数増については、余暇活動を目的とした行事の営業を実施したため。 延べ利用者数減については、行事の営業日を行うことで利用者数は増えたものの、9月に1名退所者が出たため。			

(注) 対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

5. 管理運営の収支状況 【指定管理者記入】

(1) 収入

(単位：千円、%)

	評価対象年度 (A)	前年度 (B)	前々年度	評価対象年度の 対前年度比 (%) (A) / (B)
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	
指定管理料				
利用料金収入	42,638	40,785	46,354	104.5%
その他	9,868	10,602	11,257	93.1%
収入計 (ア)	52,506	51,387	57,611	102.2%

(2) 支出

人件費	29,127	30,209	25,670	96.4%
施設管理費	2,939	3,133	3,000	93.8%
事業運営費	1,761	2,007	1,727	87.7%
その他	10,130	16,822	17,890	60.2%
支出計 (イ)	43,957	52,171	48,287	84.3%

(3) 収支

収支 (ウ) = (ア)	8,549	-784	9,324	△1,090.4%
- (イ)				
前期繰越収支差額	65,796	66,580	57,256	98.8%
次期繰越収支差額	74,345	65,796	66,580	113.0%

6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み 【指定管理者記入】

令和4年度から、利用者の仕事に対する意欲向上を目的に、休日に季節の行事の日を設けて取り組んだ。それまでは作業を中心で行ってきたため、利用者希望の行事等は作業の合間に片手間で行われていた状況であった。休日に行事を持ってきたことで余暇の充実を図り、仕事に対する意欲向上につながれたと考えられる。
令和4年度では直接利用者増加にはつながれていないが、送迎サービスも、ご利用者・ご家族のニーズに合わせ、柔軟な対応を行ってきた。新規に利用ご希望の方や現在利用されている利用者に、継続したサービス利用が提供できるよう今後も検討していきたいと考えている。

7. 施設利用者の主な声やその対応状況 【指定管理者記入】

みのり園では、利用者や保護者、職員に福祉サービス利用評価調査を毎年実施しており、アンケート調査の結果や改善策などについて、丁寧な回答をしている。
また年度初めに職員と利用者の懇談会を行い、新たな年度の取り込み等について話し合っている。季節の行事の立案は、利用者からの希望を基に職員が企画し取り組んできた。利用者からは、毎回参加して楽しかったという意見をいただいている。
新型コロナウイルスの影響で、感染拡大を最小限にするため、作業班の行き来を控えてきた。利用者が自分の作業班以外の作業もやりたいという希望もあったため、ストレスに感じた利用者もいたと思われる。感染状況や施錠の動きを見ながら制限を緩和していければと思っている。

8. 施設の管理運営における課題 【指定管理者記入】

名取市内に就労事業所が増えたことで利用者が分散している。それぞれの事業所の取り組みがあり、利用者が自分に合った事業所を選べると言うことは良いことであるが、みのり園としては現在定員割れをしている状況であり、利用者増に向けて取り組みが必要と感じている。名取市指定管理の関係で名取市在住の方という利用条件があることも原因の一つと考えており、条例の改正を強く希望しているところである。また、利用者増に向けて外部への施設PRが出来るようなパンフレット作成を検討している。
施設が昭和62年建築の為老朽化してきており、利用者や保護者から建て替えの希望が出ている。

9. 管理運営状況 【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己 評価	所管 評価
1. 実施 体制に 関する 評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	○	○
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	○	○
	施設等の維持 管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
	個人情報の 保護	個人情報の管理を適切に行っている。	○	○
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
	法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○	○
		開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
労働条件等に関する労働関係法令等が遵守されている。		◎	◎	
その他、関係法令等が遵守されている。		○	○	
2. サー ビスの 内容や 水準に 関する 評価	指定事業の 実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	○	○
		業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。	○	○
	自主事業の 実施	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○
	利用者の満足 度向上	利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	○	◎
	利用者の苦情、 要望等の把握 とその対応	利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	○	◎
		苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	○	◎
	利用状況等	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	○	○
3. 経営 状況に 関する 評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	◎
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

【評価の基準(目安)】

評価		評価の考え方
◎	(優良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(要改善)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「―」を記入する。

10. 施設所管課の総合評価 【施設所管課記入】

業務内容の全般について、関連する基準等を遵守するとともに協定書等に定める業務を適正に実施していた。収支決算は令和3年度の赤字から令和4年度は黒字へ戻り、その内容も利用料金収入の増や管理経費の減によるものである。新型コロナウイルス感染症対策や光熱費高騰等厳しい経営環境が続いた中、収支改善が図られたことは非常に優れた素晴らしい取り組みを行ったと考えている。

また令和4年度は新たな取り組みとして、余暇活動を目的とした開所を行っている。利用者からも高評価と聞いており、送迎実施の継続などと併せて今後も利用者満足度向上に取り組んでいきたい。

なお、利用者を市民に限定している条例は、令和5年度で改正を行い、市外在住者も利用できるよう改めた。施設老朽化に伴う建て替え要望は、解決に向けた話し合いを引き続き行っていきたい。

今後も雇用されることが困難な障がいのある方への活動の機会を提供する場として重要な役割を担っており、これまでどおり寄り添った事業展開を期待する。